

スカパーJSATグループ
2011年度 第3四半期決算説明会

2012年2月9日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティに関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料デジタル多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

連結業績ハイライト

損益概要

第3四半期も増収増益トレンドが継続

連結(単位:百万円)

	2010年度 3Q累計	2011年度 3Q累計	対前年 同四半期 増減率	2011年度 通期 業績予想	業績予想 進捗率
営業収益	105,551	115,904	+9.8%	152,000	76.3%
営業利益	8,637	14,763	+70.9%	15,500	95.3%
経常利益	7,433	13,984	+88.1%	14,500	96.4%
当期純利益	2,694	7,012	+160.3%	8,000	87.7%
EBITDA ^{*1}	25,279	33,247	+31.5%	—	—

*1 EBITDA = (当期純利益) + (税金費用) + (支払利息) + (減価償却費)

有料多チャンネル事業の主要指標

3サービス合計の新規加入件数50万超は過去最高

		2010年度 3Q累計	2011年度 3Q累計	2010年度 通期実績	2011年度 通期目標
新規加入件数		41.9万件	50.4万件	58.0万件	60.8万件
純増数		0.8万件	4.9万件	3.8万件	5.3万件
累計加入件数		369.6万件	377.5万件	372.5万件	377.8万件
ARPU ^{*1}	Gross ARPU	3,244円	3,244円	3,236円	—
	Net ARPU	1,476円	1,644円	1,489円	—
SAC（単価） ^{*1 *2}		35,312円	29,509円	33,806円	—
ハイビジョン化率 ^{*3}		16.0%	28.1%	19.2%	—

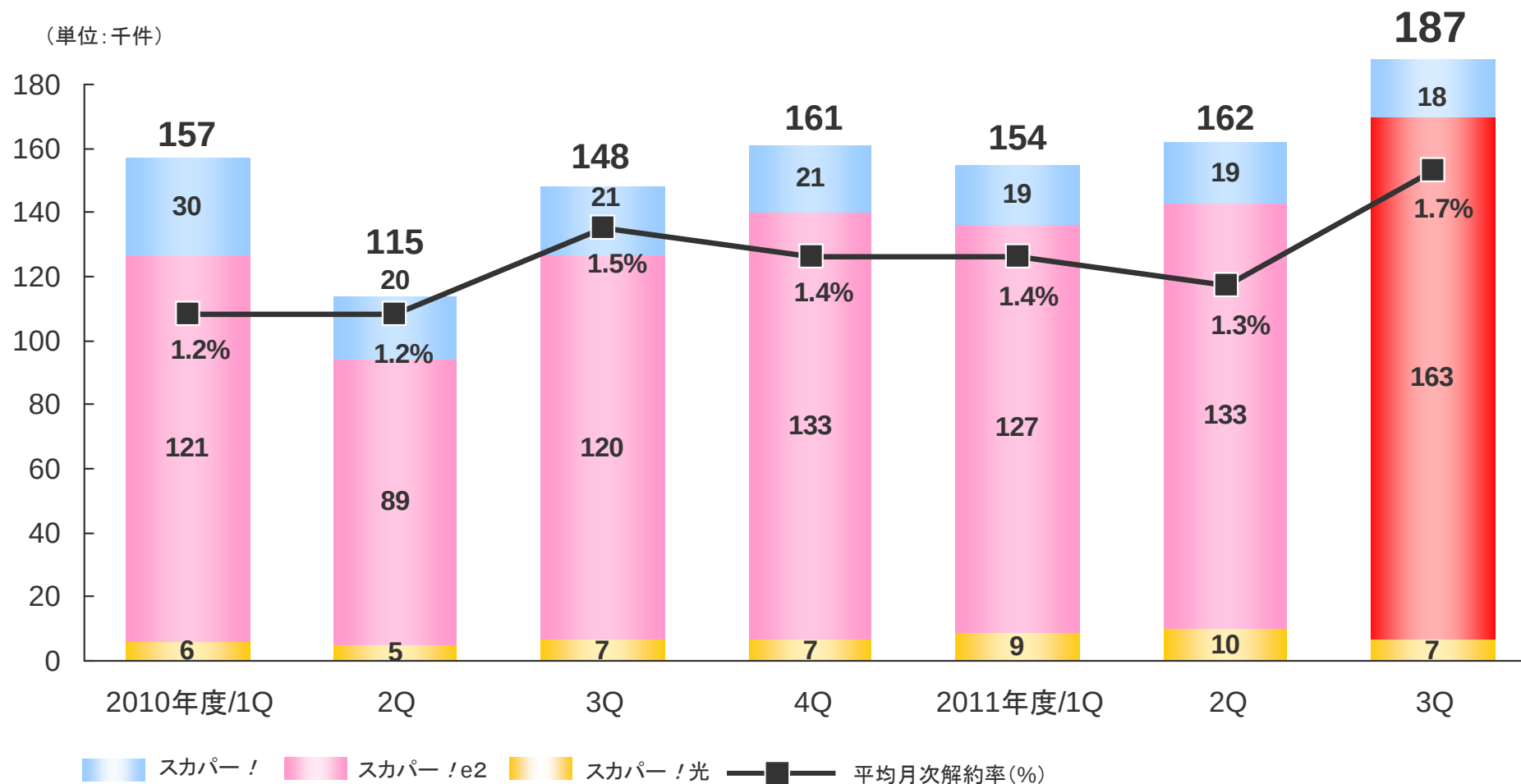
*1 スカパー！3サービスをまとめて算定。Gross ARPU: 従来の視聴料ベース単価、Net ARPU: 当社売上となる視聴料又は手数料ベース単価。

*2 当第1四半期から会計処理の見直しにより販促費の一部をSACから控除(2010年度数値も見直し)。

*3 ハイビジョン化率=(スカパー！HD累計加入件数)÷(スカパー！SD+スカパー！HD累計加入件数)

新規加入件数と解約率の推移(四半期毎)

新BS開始効果でスカパー！e2の新規加入が拡大

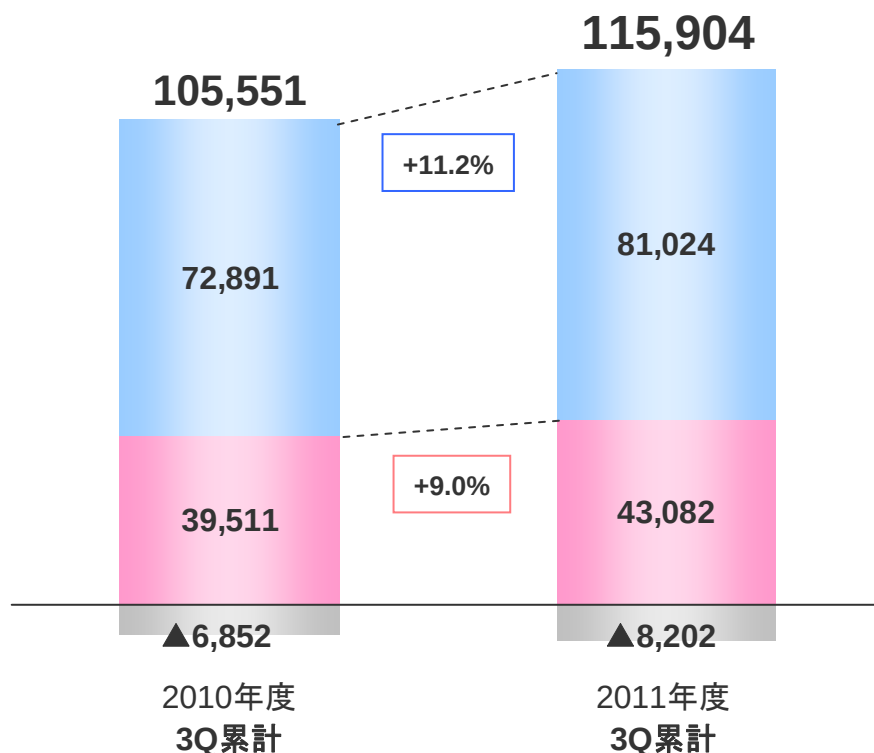


連結業績解説

営業収益(セグメント別増減要因)

視聴料収入の増加と震災後の衛星利用増が収益に貢献

連結(単位:百万円) *1



- 有料多チャンネル事業
- 宇宙・衛星事業
- 消去又は全社

*1 セグメント別の数値は新区分で算定(2010年度数値も見直し)。

有料多チャンネル事業: +81 億円

※セグメント間取引+2億円を含む。

(主な増減要因)

- ・視聴料収入の増加(HD+76、その他+9) +85 億円
- ・レンタル収入の増加 +8 億円
- ・業務手数料収入の減少(SD▲40、e2+17) ▲23 億円

宇宙・衛星事業: +36 億円

※セグメント間取引+12億円を含む。

(主な増減要因)

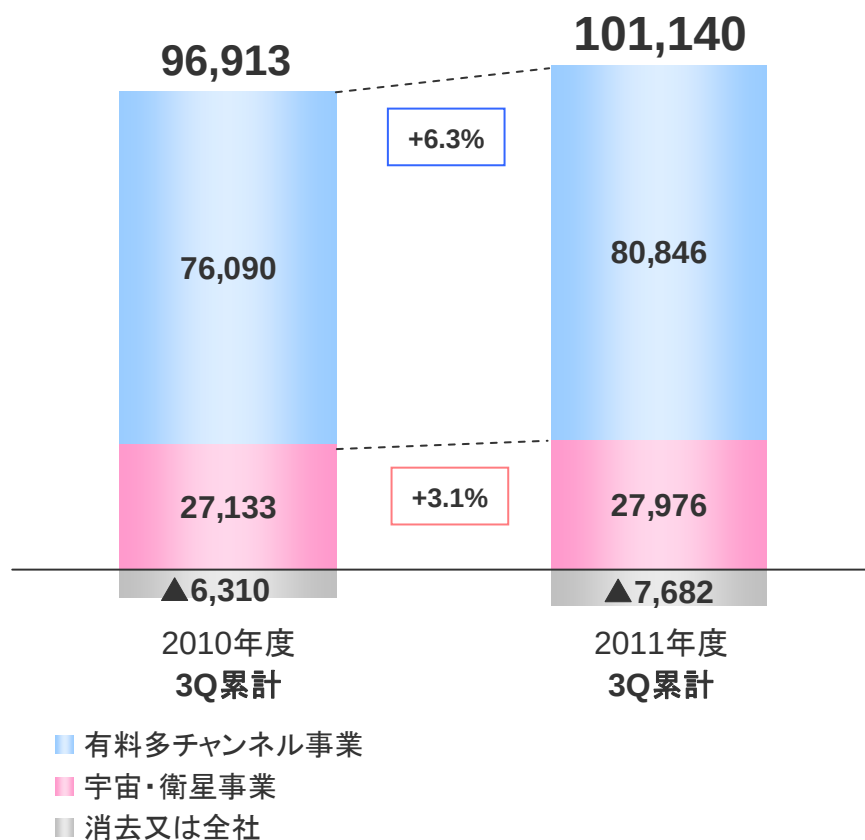
- ・震災関連の衛星事業収入の増加 +21 億円
- ・加入拡大に伴うセグメント間取引の増加 +10 億円

(注)他に、消去又は全社の対前年同期比▲13億円。

営業費用(セグメント別増減要因)

スカパー！HDの拡大に伴いHD関連番組購入費が増加

連結(単位:百万円) *1



*1 セグメント別の数値は新区分で算定(2010年度数値も見直し)。

有料多チャンネル事業: +48 億円

※セグメント間取引+12億円を含む。

(主な増減要因)

・前期発生W杯放映権等の費用減少	▲37 億円
・番組購入費の増加(HD+45、その他+8)	+54 億円
・新BS放送関連費用	+13 億円
・その他セグメント間取引の増加	+12 億円

宇宙・衛星事業: +8 億円

※セグメント間取引+2億円を含む。

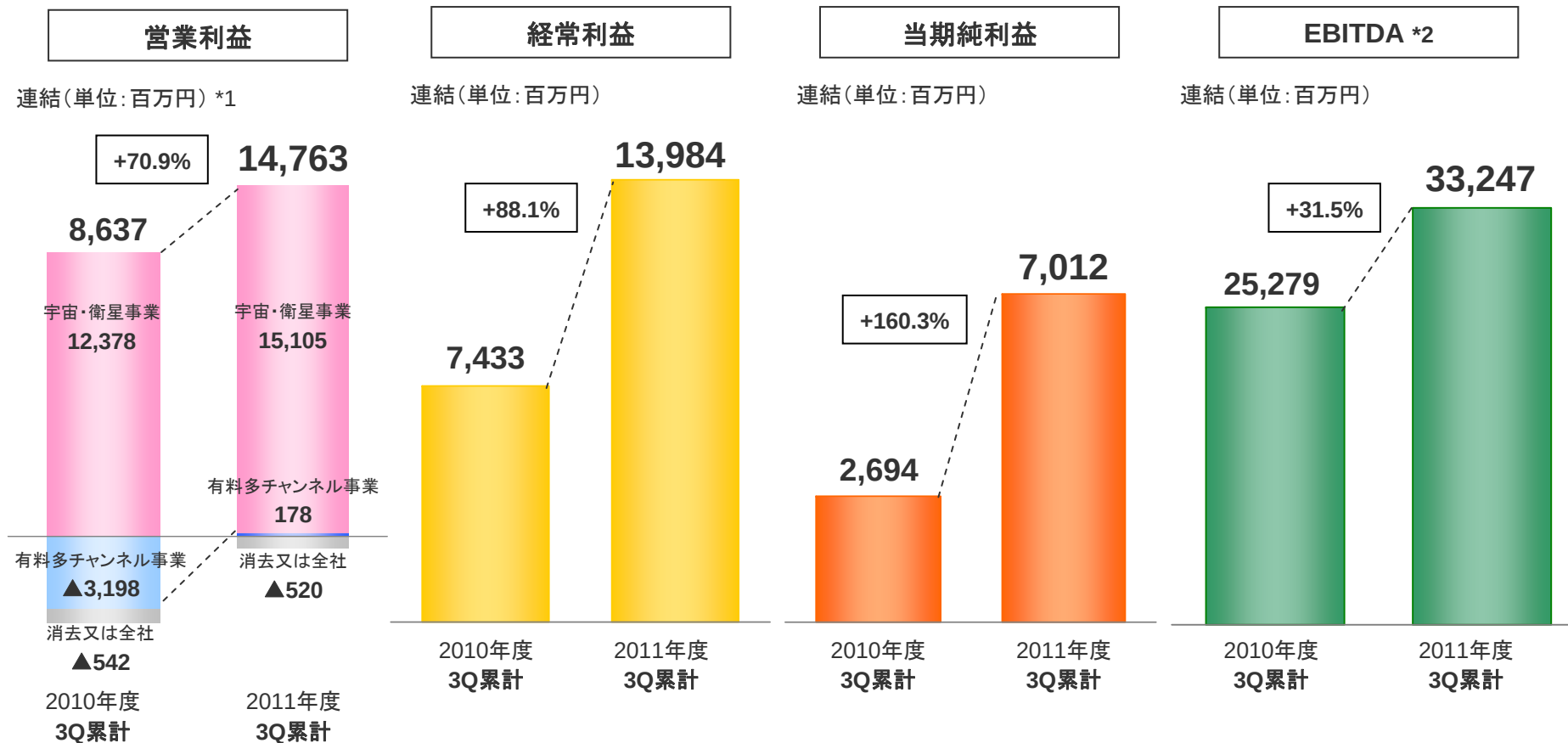
(主な増減要因)

・機器仕入れ等の増加	+5 億円
・減価償却費の増加	+3 億円

(注)他に、消去又は全社の対前年同期比▲14億円。

利益指標

両事業の収益拡大により増益トレンド



*1 セグメント別の数値は新区分で算定(2010年度数値も見直し)。

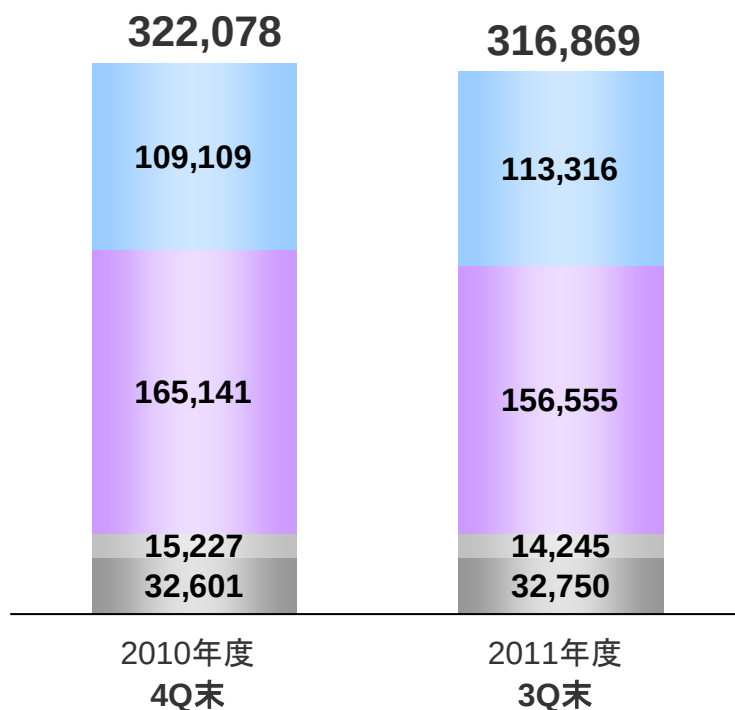
*2 EBITDA = (当期純利益) + (税金費用) + (支払利息) + (減価償却費)

貸借対照表

負債の減少で財務基盤は更に安定(自己資本比率:57.7%)

資産の部

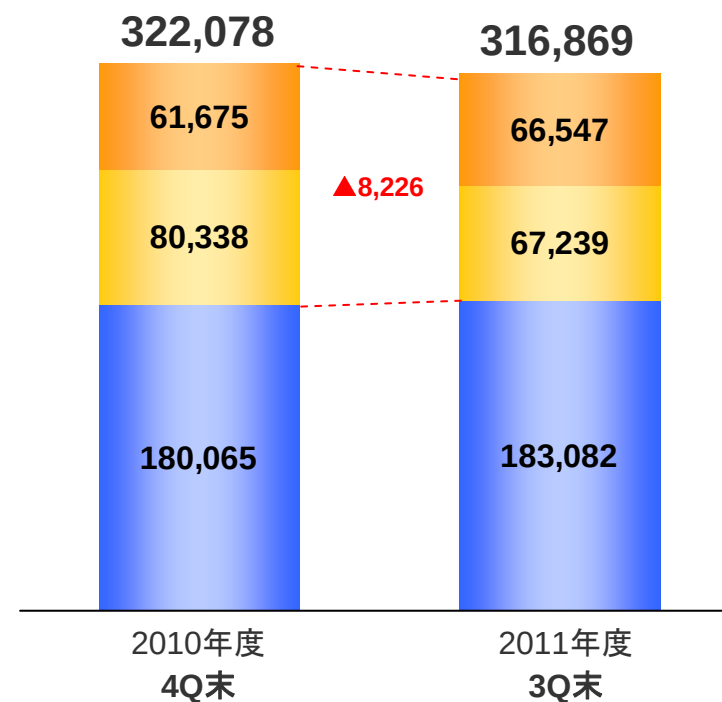
連結(単位:百万円)



- 流動資産
- 有形固定資産
- 無形固定資産
- 投資その他の資産

負債・純資産の部

連結(単位:百万円)



- 流動負債
- 固定負債
- 純資産

キャッシュ・フロー

営業CFは堅調。純有利子負債の期末残高が減少

連結(単位:百万円)

	2010年度 3Q累計	2010年度 通期	2011年度 3Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,199	38,956	32,299
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲28,175	▲28,595	1,933
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲15,819	▲17,302	▲12,547
現金及び現金同等物の期末残高 (A)	53,726	59,499	81,090
有利子負債期末残高 ^{*1} (B)	93,045	91,692	84,232
純有利子負債期末残高 (B)－(A)	39,319	32,192	3,142
設備投資額	16,454	18,757	8,861
フリー・キャッシュ・フロー ^{*2}	14,744	20,199	23,438

^{*1} 借入金＋無担保社債

^{*2} フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(設備投資額)

主要子会社別業績概要

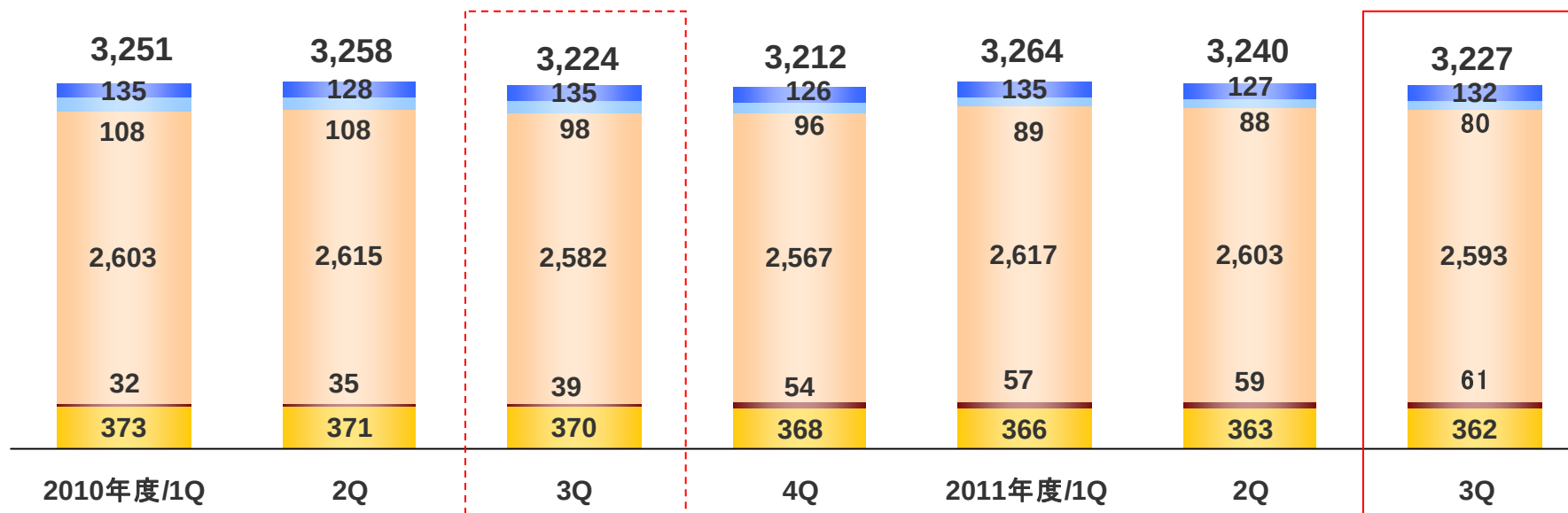
子会社業績も引き続き堅調に推移

(単位: 百万円)

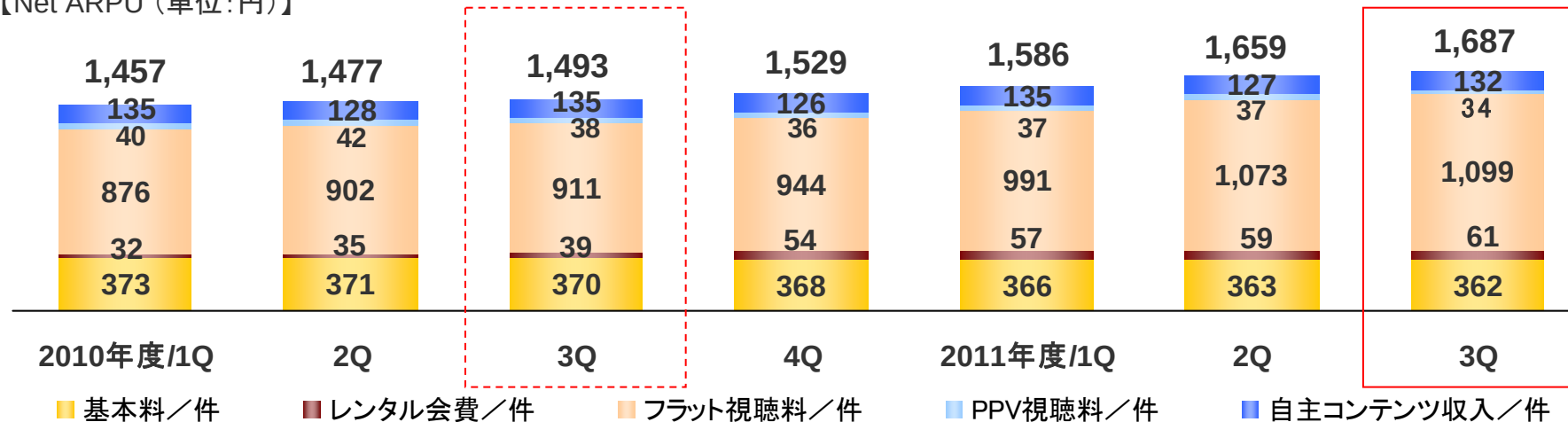
		スカパー JSAT	スカパー・ カスタマー リレーションズ	スカパー・ ブロード キャスト イング	オプティ キャスト	衛星 ネットワーク	JSAT International Inc.
事業内容		放送プラット フォーム、 衛星通信	顧客管理	放送事業	光ファイバを 利用した 映像配信	衛星通信 回線再販等	衛星通信 回線販売
保有割合 (%)		100	100	100	100	92	100
営業収益	FY10/3Q累計	91,313	13,148	17,359	6,933	3,392	1,679
	FY11/3Q累計	93,654	12,298	24,509	8,012	5,305	1,573
営業利益	FY10/3Q累計	8,061	87	233	600	305	626
	FY11/3Q累計	13,300	327	262	901	450	669
経常利益	FY10/3Q累計	7,464	94	234	545	287	631
	FY11/3Q累計	13,333	332	266	849	395	669

ARPU

【Gross ARPU (単位:円)】



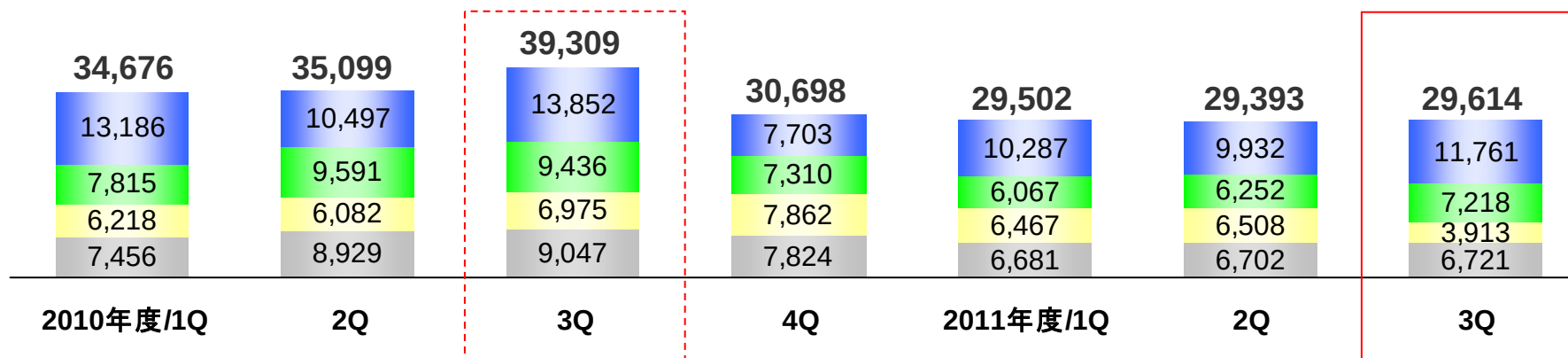
【Net ARPU (単位:円)】



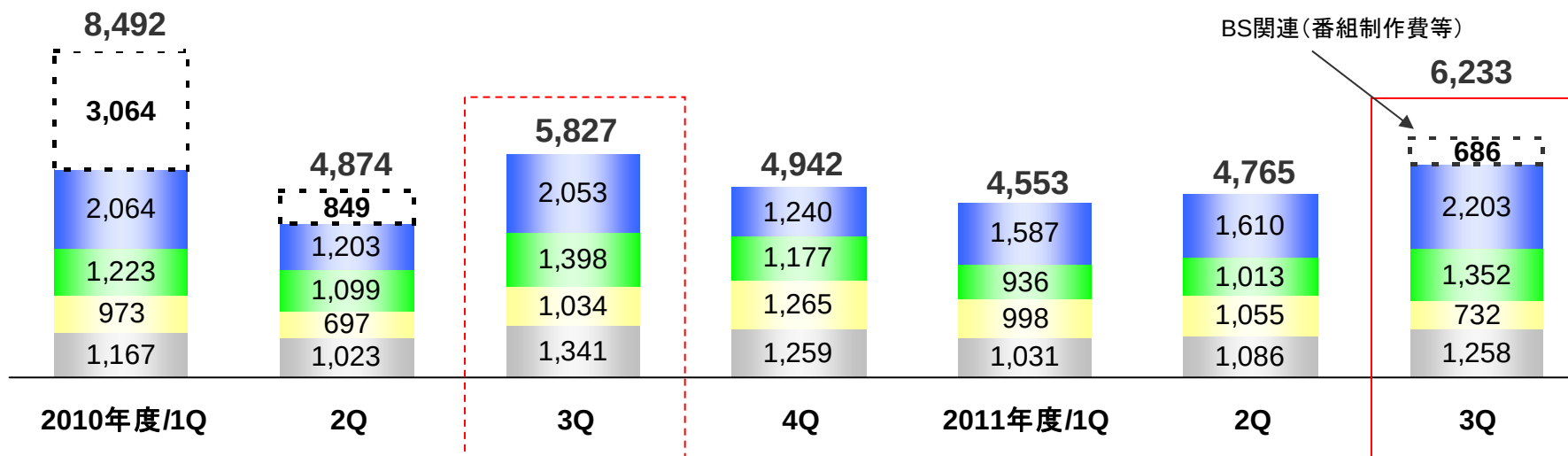
*1 スカパー！3サービスをまとめて算定 (Gross ARPU: 従来の視聴料ベース単価、Net ARPU: 当社営業収益となる視聴料又は手数料ベースの単価)

SAC

【SAC単価（単位：円）】*1



【SAC総額（単位：百万円）】*2



■ その他

■ 販売インセンティブ

■ 販売促進費

■ 広告宣伝費

■ 無料コンテンツ費 *2

*1 スカパー！3サービスの合計（SAC単価に無料コンテンツ費は含まれない）。

*2 SAC総額の「無料コンテンツ費」は、2010年度はW杯関連、2011年度3QはBS番組制作費等。

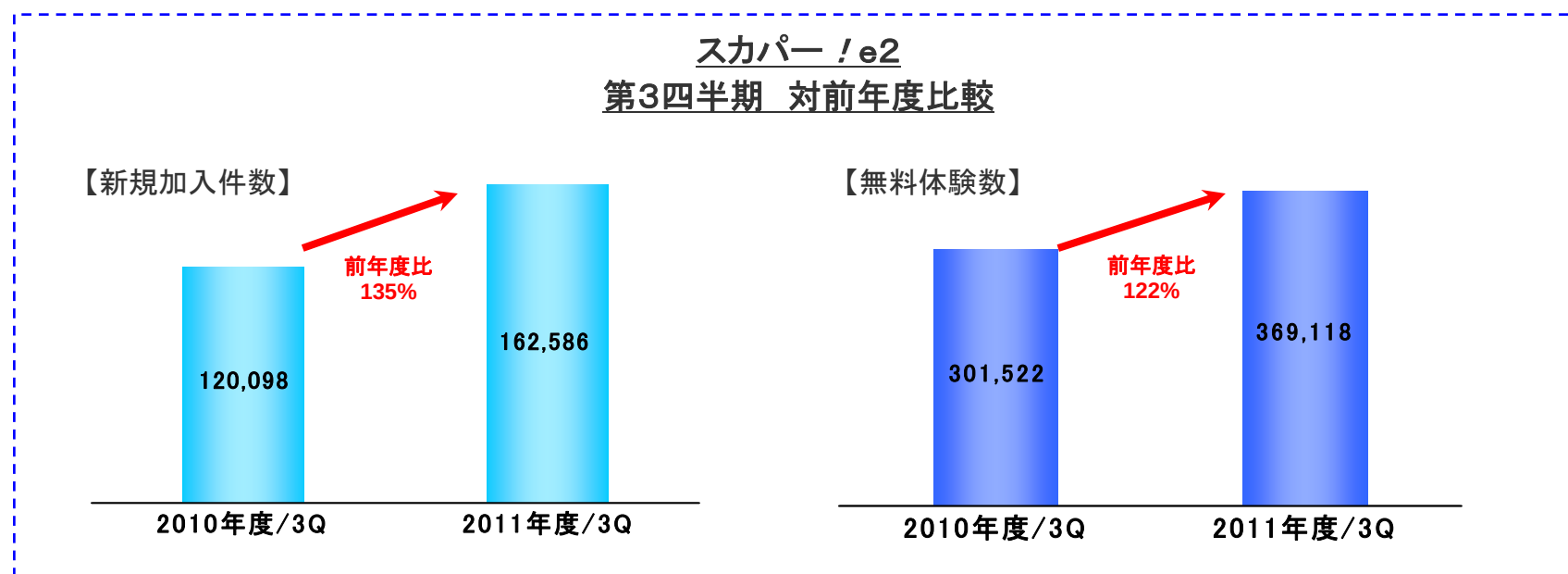
*3 2011年度第1四半期から会計処理の見直しにより販促費の一部をSACから控除。

今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

新BS放送開始後の状況

スカパー！e2 好調に推移

- ・10月単月において、スカパー！e2の「新規加入件数」「無料体験数」共に過去最高
- ・四半期ベースにおいても、前年度比較で新規加入が30%以上増加



新BS放送第2期スタートとそれに合わせた施策

2012年3月から新BS 6チャンネルが新たにスタート

- ・新BS第2期開局に向けて3月より11日間無料放送を実施し、更なるe2の拡大を図る



HD移行の加速化

移行施策の多面展開

- ・ 高ARPU契約者向けにHDチューナーの特別販売を実施するなどHD移行を加速化
- ・ 4波ブルーレイディスクレコーダ購入者向けキャンペーン及びアンテナキャンペーンなどの施策も実施

既加入者向け HD移行施策



アンテナキャンペーン



4波BDレコーダ購入者向けキャンペーン



コンテンツの強化

プラットフォームの強みを活かしたコンテンツ展開

- ・新BSチャンネル「BSスカパー！」を基軸に、視聴者の欲するコンテンツを調達
- ・BSスカパー！からスカパー！3サービスへの加入へと、お客様の嗜好に合ったサービスへのアップセル化

BSスカパー！春の特番まつり2012

BS6チャンネル開局記念 BSスカパー！



スカパー！の楽しさをもっと²みんなに。



BSスカパー！×IMAGICA BS
「PAN AM／パンナム」

© 2011 Sony Pictures Television Inc.
All rights reserved.



BS釣りビジョン開局記念
ロンブー亮@勝手に番組ジャック
～釣り番組にムリヤリ出るぞ！～



BS日本映画専門チャンネル 開局記念
金田一耕助シリーズ「八つ墓村」

(C)角川映画・映像京都

2012シーズン Jリーグ開幕

J1J2リーグ全試合放送

ナビスコカップは開幕戦から準決勝まで全試合生中継
天皇杯は注目試合を放送(予定)



※2012～2016年までの放送権を取得

2012年シーズンも セ・パ全12球団徹底放送



VODの本格スタートと対応ハードウェアの拡大

スカパー！オンデマンドのマルチデバイス展開

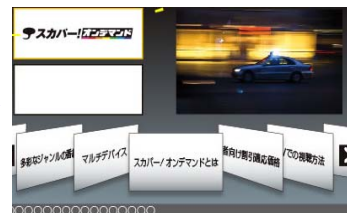
・PC・スマートフォン向けなどに加え、2月1日からTV向けサービスも開始

TV向けサービスの視聴手段

スカパー！HDチューナー経由



いずれかを選択



デジタルテレビ経由 (T's TV対応)



スカパー！オンデマンド
TV向けサービス TOP画面へ



Jリーグのライブ中継を「いつでも・どこでも」

「途中再生」「追っかけ再生※」が可能になり、「いつでも・どこでも」Jリーグの試合をライブで視聴可能

～どこでもJリーグLIVEキャンペーン～
お手持ちのスカパー！HDチューナーで見たかった番組も
「いつでも・どこでも・何度でも！」
どこでもJリーグLIVEキャンペーン
キャンペーン期間：Jリーグ2012年シーズン(2012年3月1日～2012年12月31日ご契約中)
スマートフォン、タブレット、パソコンで
J1・J2リーグ戦のライブ中継などを見られる！
キャンペーン対象のJリーグ系セット契約者は **0円**/月

リビングの大画面テレビで楽しむ



外出先で楽しむ



スマートフォン



タブレット

自室のPCで楽しむ



PC

※PC・Android端末での対応

今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

官公庁・企業による事業継続計画(BCP)の見直しに対応

2011年度:

東日本大震災からの復旧・復興支援

2011年度で、利用終了の見込み

・携帯通信事業者

(携帯基地局との回線)

・メディア

(ニュース素材伝送)

・電力・ガス会社

(監視・制御用回線等)

・中央省庁

(救助・復旧作業用連絡回線等)



2012年度:

BCPの見直しが活発化

BCP見直しに伴う、追加利用及び新規検討の動き

・携帯通信事業者

(携帯基地局との回線)

・金融機関

(データセンターバックアップ回線)

・電力・ガス会社

(テレビ会議、監視・制御用回線等)

・地方自治体

(放射線監視/モニター強化)

海外売上比率の一層の拡大

① Horizons-2軌道位置変更

2012年2月
運用開始予定

西経74度 ⇒ 東経85度
新カバーエリア: ロシア



Horizons-2

背景

- ・ロシアDTHの拡大、周辺地域での衛星需要の増大

② JCSAT-13打ち上げ

2012年度第1四半期
(4-6月) 打ち上げ予定

東経 124度
カバーエリア:
日本、アジア、
オセアニア、中近東



JCSAT-13

背景

- ・インドネシアをはじめとする東南アジアでのDTHの拡大

③ 既存衛星の海外向けトランスポンダの販売推進

Cバンド

- ・JCSAT-2A (東経154度)
- ・JCSAT-5A (東経132度)

Kuバンド

- ・Superbird-C2 (東経144度)
- ・JCSAT-1B (東経150度)

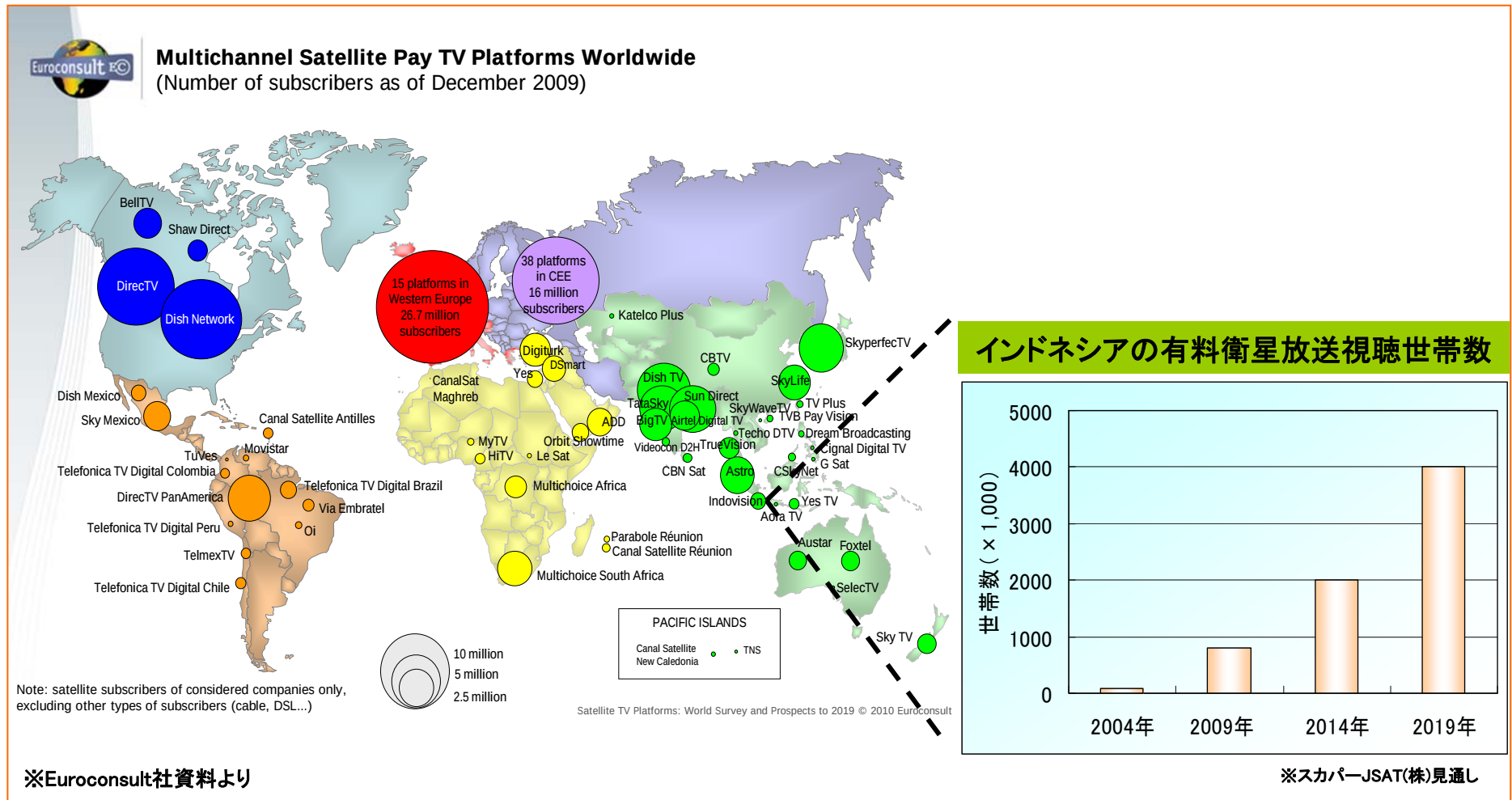
背景

- ・海外向け需要は、今後も増加見込み

[今後の展開]

- ・堅調に拡大するロシアや東南アジアでのDTH需要の積極的取り込み
- ・航空機内ブロードバンドサービスのトランク回線としての衛星需要の取り込み
- ・香港支店に加え、東南アジアの新たな営業拠点設置の検討

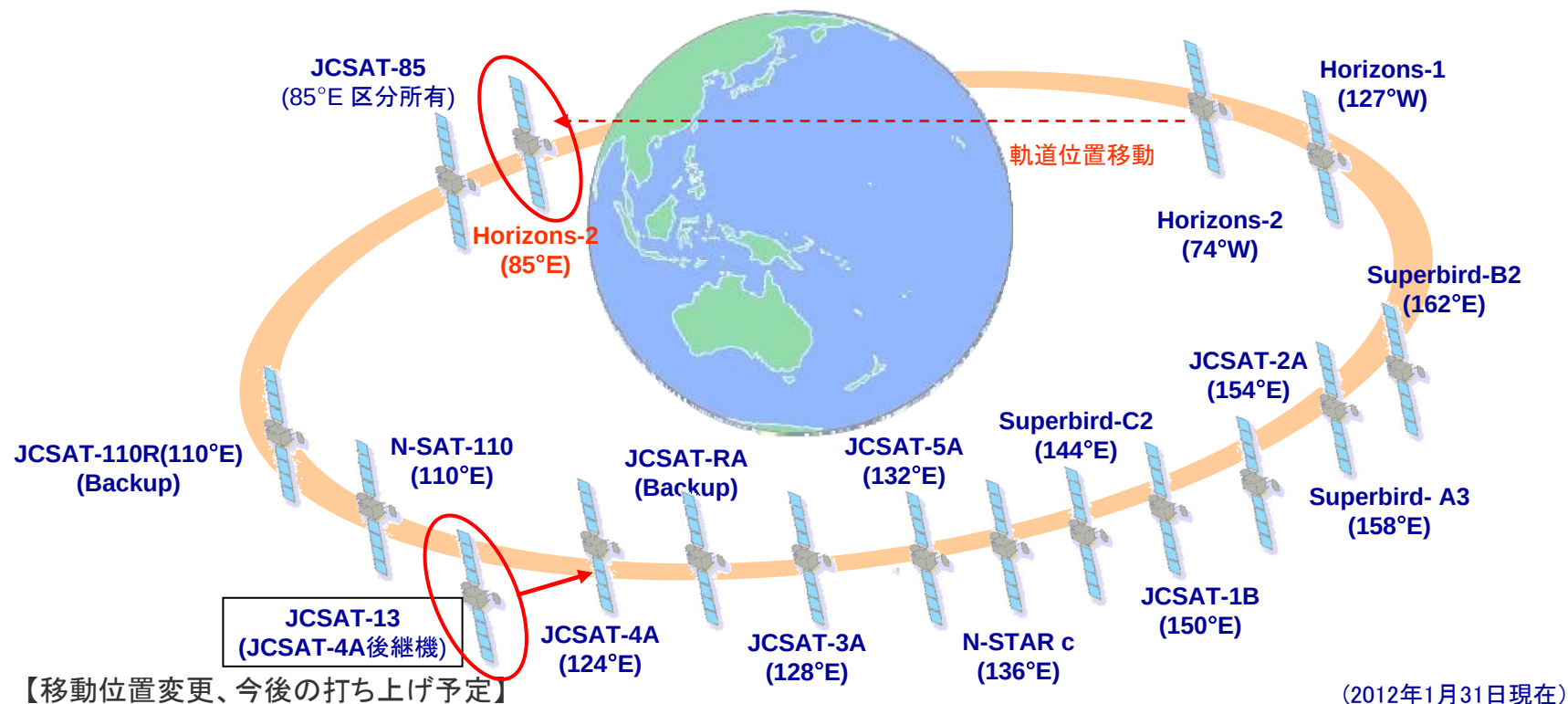
(参考) 世界の有料多チャンネル衛星放送事業者



- ・インドネシアにおける有料衛星放送視聴世帯数は、今後10年で約5倍に拡大する見通し
- ・DTH事業への新規参入が見込まれ、衛星事業者各社がインドネシア向けトラポン提供を計画

(参考)衛星フリート図 ～軌道位置～

JCSAT-13 (JCSAT-4A後継機) 打ち上げ予定 中近東ーアジアーオセアニアを広域カバー



■ Horizons-2 (74° W → 85° E)

<時期>

2012年2月

<カバーエリア>

ロシア

<中継器本数>

Kuバンド 20本

■ JCSAT-13 (JCSAT-4A後継機)

<時期>

2012年度第1四半期(4-6月) Kuバンド 44本

<カバーエリア>

日本、アジア、オセアニア、中近東

本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部

TEL: 03-5571-1515

FAX: 03-5571-1760

E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp